

参加無料

岐阜県中小企業家同友会 第5回西濃地区例会 曲がったタイル屋社長の真っすぐな挑戦 ～地域のヒト・モノ・カネを生かした差別化とは～

報告者 (有)鈴研.陶業 代表取締役 鈴木耕二氏
(東濃地区会員)

【事業内容】

焼きものアクセサリ・陶磁器タイルの製造販売
2013年 タイルブランド「七窯社(ななようしゃ)」の始動



◆◆◆七窯社とは◆◆◆

伝統的な美濃焼タイルの新しい楽しみ方を発信するブランド。「建物に彩る」タイルの美しさに着目し「人を彩る」というコンセプトのもとスタートした。

デザインは美濃の地に集まった陶芸作家を起用。地元の資源を最大限に活用し、アクセサリに付加価値を付けたジュエリーにもチャレンジ。

報告のポイント

斜陽産業と言われるタイル業界では、生き残りをかけた差別化が求められている。今回、報告するのは(有)鈴研.陶業の鈴木社長。多治見でタイルの製造販売を手がけている。1949年、祖父がタイル商社を創業し、父親の代になりタイル製造を始めた。主力商品は、「役物タイル」という建物のコーナー部分の90度に曲がったタイル。

1997年にサラリーマンを辞めて家に戻るが、父親の手伝い感覚で入社。しかし、2005年に父親が突然の他界。鈴木氏は28歳で会社を続けなければならなかった。その年は姉歯問題による売上減、それに追い打ちをかけるように2008年にはリーマンショックでどん底を経験する。

「このままタイルを続けて、生きていけるのだろうか・・・」その時は、逃げたい気持ち、やめたい気持ちでいっぱいだった鈴木氏。それでも「タイル」にこだわり続けた理由とは？どのような想いでこの状況を変えていったのか？鈴木氏の経営体験報告から「会社を維持・発展させるためには何が必要か」について学びを深める。

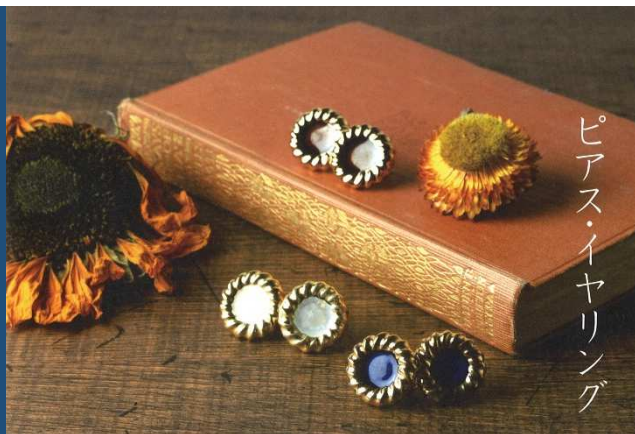
日時: 11月11日(金)19:00-21:00

会場: 大垣市情報工房 2階 会議室4

設置方法: 会場とオンライン(ZOOM)の併用

お申込先: 岐阜県中小企業家同友会・事務局

ご返信先: FAX 058-274-8798 ☎ 058-273-2182



ピアス・イヤリング



陶芸作家
駒井 香文

岐阜県中小企業家同友会 第5回西濃地区例会出欠回答用紙

■出席します(会場・オンライン)

■欠席します

※上記の項目に○印をつけてご返信ください。

企業名

氏名

E-mail



会員用 e.doyu



非会員用申込み
QRコード